

平成30年度第1回佐渡市地域自立支援協議会 議事録

日時・場所	日時：平成30年8月2日（木）午後1時30分～午後2時30分まで 会場：アミューズメント佐渡 展示室
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>（1）第4期障がい福祉計画の実績報告について</p> <p>（2）平成30年度自立支援協議会の各専門部会の作業内容について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉 会</p>
会議の公開・非公開	公開
参加者	<p>（1）医療機関を代表する者</p> <p>・真野みずほ病院 看護部長 児玉 弘美</p> <p>（2）障害福祉サービス事業所を代表する者</p> <p>・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 事務局長 細木 寅雄</p> <p>・社会福祉法人佐渡福祉会 理事長 弾正 佼一</p> <p>・社会福祉法人しあわせ福祉会 常務理事 山田 秀夫</p> <p>・社会福祉法人とき福祉会 理事長 末武 正義</p> <p>・社会福祉法人佐渡国仲福祉会 理事長 本間 攻</p> <p>（3）関係行政機関の職員</p> <p>・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 長澤 正宏</p> <p>・佐渡市教育委員会 教育長 渡邊 尚人</p> <p>（4）市長が必要と認める者</p> <p>・佐渡市手をつなぐ育成会 会長 佐藤美恵子</p> <p>・佐渡地域精神障害者家族連合会 会長 山本紀美代（座長）</p> <p>・佐渡連合商工会 副会長 村川 一嘉</p> <p>・佐渡市身体障がい者福祉協議会 副会長 椿 淳一郎</p> <p>・佐渡公共職業安定所 所長 田中 啓一</p> <p>・新潟県立佐渡特別支援学校 校長 齋藤 千賀子</p> <p>・佐渡市障がい者相談員 代表 信田 恵子</p> <p style="text-align: right;">計15名</p>

<p>専門部会 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センター そらうみ (相談支援部会) 相談支援専門員 本間 奈美 ・社会福祉法人 佐渡国仲福祉会 (知的・身体障がい部会) 相談支援専門員 原田 恭子 ・子ども若者相談センター (ひきこもり支援部会、療育支援部会) 主任 金子 真有美 保育支援専門員 其田 早苗 <p style="text-align: right;">計 4 名</p>
<p>傍聴者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 副部長 小林 倫季 課長 伊里 昌子 主任 本間 智晴 精神保健福祉相談員 荒川 恵美 主事 原田 章洋 ・社会福祉法人佐渡福祉会 岩の平園園長 渋谷 正和 事務局長 石塚 泰子 第二岩の平園園長 菊池 敬一 まっはらの家園長 出崎 信博 まっはらの家支援課長代理 本間 豊彦 そよかぜ支援課長 矢邊 悟 ・障がい者就業・生活支援センター 主任就業支援ワーカー 野田 康子 あてび 就業支援ワーカー 高野 由香 ・相談支援事業所こもれび 相談支援専門員 田中 香織 相談支援専門員 石川 和順 相談支援専門員 石山 道博 相談支援専門員 渡辺 美保子 ・社会福祉法人とき福祉会 さわやか施設長 雑賀 隆夫 サウスクラブ施設長 小庭 直樹 相川岩百合サービス管理責任者 寺尾 利江子 ・社会福祉法人しあわせ福祉会 愛らんど相川施設長 小杉 直子 愛らんど新穂施設長 大崎 あゆ子 新星学園支援長 竹内 夕紀子 <p style="text-align: right;">計 23 名</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民福祉部社会福祉課 課長 大屋 広幸 課長補佐 計良 好昭 障がい福祉係長 兵庫 研司 主事 牧野 未来 社会福祉士 清水 真実 <p style="text-align: right;">計 5 名</p>

<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度第 1 回佐渡市地域自立支援協議会 会議次第 ・平成 30 年度第 1 回佐渡市地域自立支援協議会 参加者名簿 ・佐渡市地域自立支援協議会開催要綱 ・第 4 期佐渡市障がい福祉計画数値目標達成状況評価表 ・各専門部会の作業内容提案書 ・佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会について ・佐渡市基幹相談支援センター相談実績表 ・佐渡障がい福祉フォーラム 2018 について ・第 3 次障がい者計画、第 5 期障がい福祉計画、第 1 期障がい児福祉計画
<p>進行及び協議内容</p>	<p>1. 開会</p> <p>[事務局進行]</p> <p><配布資料の確認></p> <p><市民福祉部社会福祉課長あいさつ></p> <p><参加者自己紹介></p> <p><座長の選出></p> <p>「佐渡市地域自立支援協議会開催要綱第 4 条 1 項により、参加者の互選によって、定められるとされている。ここで参加者の意見を頂きたい。」</p> <p>「事務局に一任（参加者より）」</p> <p>「事務局案として、座長を佐渡地域精神障害者家族連合会の山本会長にお願いしたい。」</p> <p>「異議なし（参加者より）」</p> <p><座長に議事進行依頼></p> <p><座長よりあいさつ></p> <p>[座長進行][事務局内容説明]</p> <p>2. 議題</p> <p>（1）議題の第 4 期障がい福祉計画の実績報告について報告を事務局から説明をお願いします。</p> <p><事務局より一括説明></p> <p><質疑・意見なし></p> <p>佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏</p> <p>「第 4 期障がい福祉計画の実績報告があったので、その実績をふまえ、第 5 期障がい福祉計画、第 1 期障がい児福祉計画を着実に進めていってほしいと思う。」</p>

(2)議題の平成30年度地域自立支援協議会の各専門部会の作業内容について事務局から説明をお願いします。

<事務局より一括説明>

<質疑・意見なし>

佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「平成30年度は第3次障がい者計画、第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画の初年度となります。障がい者計画の基本理念にもあるとおり「障がい者の健やかな生活と自立を、思いやりで支える安全安心な島(まち)づくり」を実現するため、各専門部会において本年度の作業内容について協議を深めていただきたいと思います。次回の地域自立支援協議会においてその進捗状況をご報告くださるようお願いいたします。」

3. その他

[佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会について]

<社会福祉課課長補佐より説明>

「これからの佐渡市における医療・介護・福祉のサービスを継続的に提供するためにそれぞれの関係機関が一同に集まり考えていこうというものである。各分野における従事者の不足、高齢化が今後大きな問題となる。協議会では、本日参加している障がい福祉サービスを提供している法人・県・市等を会員としている。平成30年度は、協議会の7つの専門部会を中心に協議していく。それ以降は、地域資源管理のシステム開発と運用、人材養成のプログラムを作ることにある。7つの部会の中の障がい福祉サービス部会で協議する内容については、自立支援協議会で議論する内容と重複する部分、参加者も同じになるため、関係団体の負担を軽減する意味でも、この自立支援協議会を障がい福祉サービス部会として位置づけている。今後、本協議会の専門部会の中で具体的な協議検討を進めるとともに、協議会で情報共有をしていきたいと考えている。なお、障がい福祉サービス部会のリーダーは佐渡福祉会渋谷園長様、事務局は社会福祉課で作業進めていく。各事業所の機能充実体制の現状や事業所に関するデータ集めを中心に、障がい者計画に沿って進めることが出来るかどうか、改善し効率よく業務できることはないか、場合によっては障がい福祉サービス以外の医療・介護の部分で連携する部分はないか掘り下げて検討していく。また、当事者や家族会等の方々も意見等あれば事務局へお知らせして欲しい。」

<意見・質疑>

社会福祉法人佐渡福社会 理事長 弾正氏

「佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会の会員の1人として、理事長という役柄で福祉の会議等に出ているが、実際1週間に1回出勤する程度の仕事である。協議会との関係が違ってはいないか。協議会で活躍している人を代表にしてほしい。今年がいいが、来年度はこの意見を取り入れて人選を考えていただきたい。」

佐渡市社会福祉課 計良課長補佐

「意見を踏まえて、協議会で協議したい。」

[佐渡市障害者基幹相談支援センター事業について]

<社会福祉課障がい福祉係より説明>

- ・基幹相談支援センターの事業内容の紹介
- ・平成29年度の実績報告

[佐渡障害福祉フォーラム2018について]

<佐渡障害福祉フォーラム実行委員会事務局より説明>

<意見・質疑>

佐渡地域精神障害者家族連合会 座長 山本氏

「フォーラムについて、行かないともったないという意見を知人から聞いた。色んな行事があるが、もっと多くの人に広めるPR方法はないのか検討していただきたい。」

[次回の日程(2月末頃～3月初旬)]

<その他意見・質疑>

社会福祉法人とき福社会 理事長 末武氏

「みずほ病院のベッド数減少のことについて、話せることがあれば話を聞きたい。」

佐渡市社会福祉課 大屋課長

「聞いている範囲の情報によると、常勤医師3名いたが、今年度から2名体制になった。3つある病棟のうち1棟を休止することを報道で知った。認知症や急性期の患者に対しては入院できる状態を維持していくということは聞いている。退院して地域で安心して生活していける環境を病院と市で協議しながら整えていきたいと考えている。」

みずほ病院 看護部長 児玉氏

「ベッド数減少することにより皆様が不安に思うことはもちろんだと思う。今まで入院できていたが、ベッド数減少によりベッドが埋まっているので入院できないとなることは、家族や当事者を不安な思いにさせてしまうことは申し訳なく思う。病院としては今後も精神科の治療として佐渡の精神医療を守るという使命は全うしていくので安心していただきたい。あと、地域で暮らしていく予定の患者さんの数も数十名いるので、その方々が地域で生活できる体制を訪問看護も含め、今後充実させていくよう努め、取り組んでいきたい。」

佐渡地域精神障害者家族連合会 座長 山本氏

「みずほ病院の件については、家族全体が不安に思っている。家族会からこの件について聞きたいことや不安解消のために説明会を開いてもらいたいと要望を出した。日程的には8月20日14時佐渡中央会館小会議室で説明会をやるということが、みずほ病院から発送されることが決まっているので、連絡がいくと思う。いざという時には病院に走らなければならない。そのときに病院がないとみんなが不安になるため、対応していただきたい。まず説明会を終えた中でその後の検討をしていきたい。家族会の方で運動したが、家族会だけでなく、みずほ病院に関係した人たちに大勢参加していただきたい。」

社会福祉法人佐渡福社会 理事長 弾正氏

「佐渡病院の先生がいうには、佐渡病院はあと7年するとなくなるという話を聞いた。それに向けて立ち上げていきませんかというのが医療・介護・福祉提供体制協議会である。協議会の名前だけではなんなのか分からない。今のみずほ病院と同じようなことが7年後に精神障がい者だけでなく、みんなが迎えようとしている。そのための会であることを知ってほしい。」

佐渡地域精神障害者家族連合会 座長 山本氏

「みんながのんびりしてられない。こういう会議で皆さんの意見をまとめて審議していくことが必要だと思う。真剣に考える機会が必要である。」

	<p><座長よりあいさつ> <座長終了></p> <p>[事務局進行] 4. 閉会</p>
備 考	